

畜産ネットワーク ちば

2017年1月16日
第38号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

年頭のご挨拶



公益社団法人
千葉県畜産協会
会長 森 英介

明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、当畜産協会の事業の推進につきまして、深いご理解と多大なるご支援、ご協力を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、夏のリオ五輪において日本選手の史上最多のメダルラッシュ、また、3年連続になる日本人のノーベル賞受賞等、大変うれしいニュースもありましたが、一方で地震、台風等による多くの自然災害も発生し、多くの方々が大被害に遭われ、心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。

畜産を取り巻く情勢は、高齢化による離農、労働力・後継者問題による農家戸数の減少等による生産基盤の弱体化が懸念され、その対策が喫緊の課題となっており、家畜衛生面では、昨年末に国内で2年ぶりとなる高病原性鳥インフルエンザの発生が相次いで確認され

るなど、本病の流行が危惧され、一層の防疫対策の徹底が求められております。

また、TPPについては、11月のアメリカ大統領選挙の結果から、発効には先行きに不透明感がありますが、今後、EPAの進展等、畜産におけるグローバル化の波は避けて通れない状況にあります。

このような状況にあつて当畜産協会では、国の施策の一環として、昨年から畜産クラスター事業のうち機械導入事業について、県の窓口団体として事業を推進するとともに、畜産経営安定対策、県産畜産物の消費拡大、生産性の向上対策並びに家畜衛生面では疾病対策、飼養衛生管理の向上等の事業を推進し、畜産経営の安定に努めてまいりました。

本年も、本県畜産の振興・発展のため、県民・消費者と生産者、関係団体・行政機関等との密接な連携に努め、畜産経営の安定と安全で信頼される県産畜産物が安定的に供給されますよう、各種事業へ積極的に取り組む所存でございます。

今後とも、様々な場面で皆様方のお役に立てるよう、役職員一同、努力してまいりますので、ご理解・ご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年が皆様方にとりまして、輝かしく夢と希望を抱かせる飛躍の年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

目次

- 【1】年頭のご挨拶
- 【2】高病原性鳥インフルエンザの発生に備え、「防疫演習」「養鶏研修会」を開催
平成28年度全国優良畜産経営管理技術発表会
(第56回農林水産祭参加行事)
- 【3】第54回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ
- 【5】肉用牛肥育経営安定特別対策(牛マルキン)事業
- 【6】畜産関係施設リリースのご案内
- 【8】チバザビーフ協議会報
- 【10】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信
- 【11】肉用牛損害賠償請求
- 【12】2016年(第10回)千葉県畜産フェア開催
ちば畜産レディースネットワーク会報
- 【13】NPC通信
- 【16】平成28年度千葉県肉豚共進会

高病原生鳥インフルエンザの発生に備え、「防疫演習」、「養鶏研修会」を開催

高病原性鳥インフルエンザ（以下、HPA I）は、中国、台湾、韓国等の近隣諸国では継続的に発生が認められており、わが国への本病の侵入が懸念されておりましたが、昨年11月以降、国内で2年ぶりとなるHPA Iの発生が相次いで確認されるなど、本病の流行が危惧されております。

そこで、県内での万が一の発生に備え、HPA I発生時の迅速かつ確な防疫措置ができるよう、県内生産者にも参加していただき、生産者段階における初動防疫対応について防疫演習を開催するとともに、養鶏研修会を開催しました。（専務理事 鈴木）

【HPA I 県域防疫演習】

- (1) 演習日時及び場所：11月15日（火） 午前9時30分～ 千葉県立農業大学校（東金市）
- (2) 参加者：県関係機関、市町村、畜産関係団体等335名、うち生産者等参加者6名
- (3) 演習内容：

- ① HPA Iの感染防止、発生時の防疫計画について
- ② 防疫作業（殺処分・消毒等）の現地演習

生産者については見学班となり、サブステーションにおいてHPA Iの感染防止、防疫計画、防護服の着脱デモ等の説明を受け、その後、演習会場に移動し、殺処分、消毒等の現地演習の説明を受け、本病発生時の防疫対応について理解していただきました。



【養鶏研修会】



平成28年度養鶏研修会を12月8日（木）、千葉市生涯学習センターにおいて開催しました。

今回は、HPA I発生の中ではありませんでしたが、養鶏生産者等75名の多くの方に参加していただきました。

研修演題は「アニマルウェルフェア動向」と題して、東西産業貿易株式会社 長島貴啓先生から講演を頂くと

ともに、「動物検疫所における鳥インフルエンザ防疫体制について」と題して、農林水産省動物検疫所成田支所 遠藤明仁先生から講演を頂きました。

また、協会事業の一環として、飼養衛生管理基準の周知並びにHPA Iの初動防疫対策について情報提供を行い、衛生意識の向上・醸成を図ることができ、有意義な研修会となりました。

平成28年度全国優良畜産経営管理技術発表会(第56回農林水産祭参加行事)

《いすみ市 有限会社 高秀牧場（酪農） 最優秀賞・農林水産大臣賞受賞》

公益社団法人中央畜産会主催による、平成28年度全国優良畜産経営管理技術発表会が、平成28年11月22日に東京都港区の機械振興会館において開催されました。

本発表会は、優秀な実績を収めている畜産経営等を広く紹介し、畜産経営の改善に資することを目的に毎年開催されております。

当日は、事前に選考された8事例による業績発表が行われ、最終審査の結果、最優秀賞4点、優秀賞4点が選ばれ、表彰式が執り行われました。

千葉県からは、協同組合日本飼料工業会が推薦した有限会社高秀牧場代表 高橋憲二氏が「中山間地域における国産飼料資源での自給率向上への挑戦（地域農業とともに歩む循環型酪農と6次産業化の中で）」と題し事例発表を行い、耕畜連携、国産飼料資源の有効活用による飼料自給率の向上、チーズ・ジェラード生産への取り組み等が評価され、最優秀賞を受賞されました。



最優秀賞4経営（左から3人目が高橋憲二氏）

なお、最優秀賞の4経営につきましては、平成29年度農林水産祭において、天皇杯等の選賞の対象となります。（専務理事 鈴木）

第54回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

千葉県農林水産技術推進会議畜産部会主催の試験研究成果発表会が開催されます。
参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。開催日時、場所、課題名等は下記のとおりです。
お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ち申し上げます。（畜産総合研究センター）

< 酪農・肉牛部門 >

日 時：平成29年1月24日（火）10時～14時10分
場 所：さんぶの森文化ホール（さんぶの森公園内）
山武市埴谷1904-5（TEL：0475-80-9700）



◆千葉県における飼料用トウモロコシ二期作栽培導入における効果と留意点 （畜産総合研究センター 企画環境研究室 青木大輔）



千葉県において二期作栽培が可能であることは一昨年報告したが、今回は、実証栽培から得られた収量性や、二期作目の収穫時期等についての留意点を報告する。

←平成28年11月上旬の二期作目生育状況

◆破碎籾米は交雑種肥育牛に給与する配合飼料の40%まで置き換えできる （畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 石崎重信）

配合飼料の20%、40%を破碎籾米に置き換え、交雑種去勢牛に12.3ヵ月齢から出荷まで給与したところ、増体、枝肉成績、枝肉価格は配合飼料給与と差が無く飼料費低減が可能であった。

破碎籾米を給与した交雑種去勢牛→



◆発酵TMRにおける自給飼料サイレージの活用による発酵特性への影響 （畜産総合研究センター 企画環境研究室 行川貴浩）



発酵TMRの高品質低コスト調製のため、本県基幹自給飼料のトウモロコシ、ソルガム、飼料イネのサイレージ有効利用を、調製時期・貯蔵期間・糖添加の視点を加え検証した。

←小規模サイレージ発酵試験法（パウチ法）による実験

◆酪農場における臭気指数相当値の実態 （畜産総合研究センター 企画環境研究室 斉藤健一）

酪農場内での臭気指数の現状について、各種作業や施設別及び季節ごとにどのように変動しているのか、ニオイセンサにより実態調査を行ったので報告する。

◆イノシシの農作物被害対策としての放牧ゾーニングのためのシバ型草地化技術 （畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 中橋冬陽）

イノシシ被害対策である放牧ゾーニングにおいて、シバ型牧草の導入によってイノシシが侵入しにくい見通しの良い放牧地を造成する際には、バヒアグラスの導入が適している。

放牧ゾーニングのためのシバ型草地造成→



◆茎葉型イネWCSの泌乳中後期牛への給与による飼料特性の解明 （畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 村中洋美）

高糖分高消化性イネ「たちすずか」のイネWCSを乾物中に25%配合調整したTMRを泌乳中後期牛に給与し、その飼料特性について調査した結果について報告する。

（→次頁に続く）

◆周産期における新規木材飼料の粗飼料置き換え効果

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 福井陽士)

周産期の乳牛にTDNが高く発酵が緩やかな特性を持つ新規木材飼料を粗飼料と置き換えて給与したところ、チモシー乾草よりも第一胃内のpHの安定性を高める可能性が示唆された。

新規木材飼料→



◆乳用種未経産牛に対するCIDR-synch処置による発情誘起

(畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 関根大介)

正常な発情周期を確認出来ない乳用種未経産牛に対し、膈内留置型徐放性プロジェステロン製剤(CIDR)を用いた繁殖プログラムの実施により、発情を誘起することが可能である。

※引き続き同会場において千葉県、千葉県農業再生協議会主催の「飼料増産に関する情報交換会」が開催されます。

< 養豚部門 >

日時：平成29年2月15日(水) 10時30分～12時

場所：印旛合同庁舎2階大会議室(印旛農業事務所隣)

佐倉市錦木仲田町8-1 (TEL: 043-483-1128)

※駐車場に限りがありますので、電車を利用するかお車の場合は乗り合わせての来場をお願いします。



◆常温保存した籾米の給与が肉豚の発育と肉質に及ぼす影響

(畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 松本千明)



籾米の状態で2年間常温保存した飼料用米を離乳期から肥育後期まで豚に給与し、飼養成績、枝肉成績、肉質成績への影響を検討した。

←左：籾、右：倉庫に保管中の飼料用米

◆繁殖母豚(ポウソウL4)の育成段階における制限給餌が繁殖成績に及ぼす影響

(畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 江森 格)

系統豚「ポウソウL4」の繁殖性(産子数など)や哺乳子豚の増体の斉一性など能力が発揮できる育成方法について検討したので報告する。

左：系統豚「ポウソウL4」、右：哺乳中のポウソウL4の産子→



◆リキッド飼料で収益性の向上を図った養豚農家の一事例

(畜産総合研究センター 企画環境研究室 井口明浩)

肥育豚にリキッド飼料の給与を開始した養豚農家で、枝肉成績、販売価格及び飼料費等を調査し、配合飼料給与豚と比較するとともに、初期投資額や留意事項を調査した。

※引き続き同会場において千葉県畜産協会主催の「千葉県養豚大会」が開催されます。

< 養鶏部門 >

日時：平成29年2月10日(金) 10時30分～12時

場所：成田国際文化会館 小ホール

成田市土屋303 (TEL: 0476-23-1331)

◆飼料中の粗蛋白質、代謝エネルギー含量の違いとプロバイオティクスの添加が暑熱環境下のブロイラーの発育に及ぼす影響

(畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉)



暑熱環境下のブロイラーでは、前期は低C P 高M E 飼料に、後期は標準のC P・ME水準の飼料にプロバイオティクスを0.01%添加して給与すると、増体低下の抑制に有効である。

暑熱環境下ズートロン内（左：肥育前期、右：肥育後期）→



◆飼料用米の給与形態や配合割合の違いが採卵鶏の産卵性や卵質に及ぼす影響
（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 本多芙友子）

玄米と粳の形態で、トウモロコシの全量あるいは半量代替すると産卵率や平均卵重に大きな影響はみられず、卵殻強度や卵殻厚は、粳を配合した区で高い傾向がみられた。

◆ベクチン・キシログルカンおよびアラビノキシラン等分解酵素が採卵鶏飼料の利用効率に及ぼす効果
（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香菜）



栄養素の利用効率を見込んで、低栄養飼料に酵素剤を添加したものを採卵鶏に給与すると、産卵・卵質成績は対照区とほぼ同等または対照区より良好な値を示す。

←試験に用いた飼料

◆採卵鶏主要銘柄経済性能比較調査
（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 岡田浩子）

今年度はボリスブラウン、マース、シェーバーブラウン、後藤もみじ、ジュリア、ジュリアライト、ジュピター、デカルブTXの8銘柄について育成状況や産卵性等を調査した。

赤玉産出鶏→



※引き続き同会場において鶏病研究会千葉県支部主催の「技術研修会」が開催されます。

【お問い合わせ先】

千葉県畜産総合研究センター TEL：043-445-4511 FAX：043-445-5447
(<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>)
千葉県農林水産部畜産課 TEL：043-223-2939 FAX：043-222-3098

肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業

◆肥育牛補填金単価【平成28年7～9月販売分】

（単位：円/頭）

区分	7月			8月			9月		
	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,280,924	757,999	458,395	1,236,874	754,506	459,533	1,246,367	766,290	452,597
生産コスト (B)	1,047,007	742,862	480,753	1,046,477	738,085	493,061	1,034,185	725,369	511,368
差額 (C)=(A)-(B)	233,917	15,137	△22,358	190,397	16,421	△33,528	212,182	40,921	△58,771
補填金単価 (C)×0.8	-	-	17,800	-	-	26,800	-	-	47,000

※100円未満切り捨て

個体登録申込、販売・異動の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。

また、牛マルキン事業では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりません。繁殖雌牛や種雄牛を申し込んだ場合には、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出してください。（企画課 小倉）

畜産関係施設リースのご案内

(公財) 畜産近代化リース協会のリース事業の特徴・仕組み

◎ 経営資金が有効に使えます

機械の導入時に多額の購入資金を必要としないので、資金を有効に生かすことができます。

◎ 導入する機械施設、購入業者が選べます

リース物件は、農家が自由に選定でき、購入価額も業者と交渉して決めていただきます。

◎ リース物件は、リース期間終了後は自分のものになります

リース期間が終わったら、購入価格の100分の10の額に消費税相当額を加えた額でリースを受けた方に譲渡されます。

◎ リース期間中は、偶発的事故の損害が補償されます

リース機械施設は割安な掛金で損害保険（動産総合保険）に一括加入されるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶発的な事故による損害が補償されます。

◎ 農家には農業協同組合等を通じてリースされます

リース物件は、農家を選んだ業者から当協会が購入し、農業協同組合等にリースします。農家は、この農業協同組合等から再リースされます。

◎ 特認貸付けもできます

リース可能な機械施設は別表のとおりですが、これ以外でも協会の理事長が特に必要として認めたときは、特認でリースすることができます。本措置を利用して、ふれあい牧場等のアイスcream・チーズ製造用機械、動物用ケージ、ベンチ、簡易牧柵などもリース可能です。詳しくは、当協会にご相談ください。

◎ リース期間の短縮・延長ができます

農家の要望によって、例えば法定耐用年数7年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間6年を4年から9年の範囲で変更することができます。

◎ 中古機械もリースします

一定の要件を満たすものは、中古機械（機械施設の種類及び耐用年数の残存期間は問いません。）もリースの対象となります。

◎ 信用保険にも加入（任意）できます

当協会から畜産機械施設のリースを受けている農家の方が、いろいろな事情で経営が破たんし、リース料を納入できなくなって保険事故と認定された場合に、保険会社が代わりに保険金として支払う保険制度です。

(概要)

- 1 対象となる機械施設は畜産機械施設で、保険期間は開始から最長9年間で（ただし、加入時において赤字経営の方は対象からはずれます。）
- 2 保険料はリース料残高（残債）の0.5%です。保険金の上限を2,000万円としていることから、1年間の保険料は最大で約100,000円となります。
- 3 一旦この保険に加入すると、次回以降のリース機械はすべて保険に加入することとなります。ただし、複数の機械が対象になっても、保険金の上限は2,000万円です。

◎ 随時、迅速に貸付けします

当協会のリース申請は、随時、受け付けており、貸付契約も迅速な処理で、農家が必要な時に早急な機械施設の整備が可能です。

リース料等の支払い事例

● 畜産関係施設

- ・リース物件：ブロードキャスター
- ・リース期間：6年
- ・取得した価額：1,080,000円（取得価額1,000,000円、消費税80,000円）
- ・借受者：畜産農家
- ・リース開始日：4月1日

【支払回別の支払額】

(単位:円)

年度別	1年目		2年目		3年目		4年目		5年目		6年目		合計
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
リース料	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	900,000
消費税込	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	72,000
附加貸付料 (利息：残債の1%)	5,000	4,625	4,250	3,875	3,500	3,125	2,750	2,375	2,000	1,625	1,250	875	35,250
譲渡価格													100,000
取得価額分													1,000,000
消費税込													8,000
動産総合保険料	7,370												7,370
信用保険料（任意）	2,499	2,312	2,124	1,937	1,749	1,562	1,374	1,187	999	812	624	437	17,616
支払額（信用保険未加入）	96,550	85,625	85,250	84,875	84,500	84,125	83,750	83,375	83,000	82,625	82,250	189,875	1,122,620
支払額（信用保険加入）	99,049	87,937	87,374	86,812	86,249	85,687	85,124	84,562	83,999	83,437	82,874	190,312	1,140,236

注1: 貸付料等の支払いは、毎年、3月末と9月末の2回に分けて支払っていただきます。

注4: このほか、このリースを扱う農協等の事務手数料がかかる場合があります。

注2: 動産総合保険料は、機械の種類等によって若干異なります。

注5: 中古畜産機械のリース料についても、上表に準じて計算されます。

注3: 信用保険の加入は、借受者の任意です。

また、動産総合 保険の対象にもなります。

主なリース機械施設、リース期間等

区分	施設名	主要なリース機械施設(注:リース期間は6年、ただし△印は5年) ※下表に無い機械施設でも畜産用であればリースが可能ですので、下記までお問い合わせ願います。
飼料生産利用施設	草地造成用機械施設	ブルドーザー、トラクター、ショベルローダー、ストーンクラッシャー、バックホー、プラウ、ライムソウー、ブロードキャスター、ブームスプレーヤー、ローターベーター、ロータリー、連絡用車両(普通自動車)、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
	自給飼料生産利用機械施設	トラクター、ホイルローダー、ロータリー、コーンハーベスター、テッダー類、レーキ類、モアー類、プラウ、コンディショナー、フォレージハーベスター、マニヤワゴン等ワゴン類、飼料攪拌機、播種機、散布機、マニヤスプレッター、スラリーポンプ、バキュームカー、ラッピングマシン、フロントローダー、カッター、ロールベラー、ロールカッター、ヘイベラー、FRPサイロ、コーンプランター、ミニスーパーカー、ペールディストリビューター、サイララップ、ラウンドベラー、コンビラップ、トラック、牧柵、農業用GPS、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
家畜家きん飼養施設	生乳生産合理化施設 (1)搾乳施設 (2)生乳冷却貯蔵施設 (3)生乳検査機械	パイプラインミルクカー、ミルクパーラー、ロータリーパーラー、搾乳ロボット、自動搾乳システム、ユニット自動搬送システム、バルククーラー、プレートクーラー など 生乳成分分析装置、体細胞測定装置 など
	精液保管等施設	凍結保管器、液体窒素保管器、補給器、データ処理装置、無停電電源装置、輸送用車両(普通自動車、△軽自動車)、トラック など
	畜舎環境改善機械施設	清掃システム(パンクリーナー等)、スクレーパー、集ふん機、スラリーポンプ、袋詰装置、発酵装置、攪拌装置、乾燥機、焼却機、送風機、固液分離機、浄化装置、トラクター、ホイルローダー、消毒装置、細霧装置、節電機、発電機、哺育機、通風装置、受電装置、牛床マット、給水施設、給湯施設、自動給餌機、発情検知システム、滅菌機、飼槽、乳頭清拭装置、高圧洗浄機、電動カウブラシ、牛群管理システム、スタンション、哺乳ロボット、パシチャライザー、カーフフィーダー、パレタイザー、牛舎柵、カーフハッチ、畜舎カーテン、監視システム・カメラ、削蹄機、除雪機、血液分析・超音波診断・X線診断等の家畜診療用機械、家畜診療用車両(普通自動車)、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、家畜診療用車両(軽自動車)、△軽トラックなど
	中小家畜管理機械施設	清掃システム(パンクリーナー等)、スクレーパー、集ふん機、袋詰装置、発酵装置、攪拌装置、乾燥機、焼却機、送風機、固液分離機、浄化装置、トラクター、ホイルローダー、消毒装置、細霧装置、通風装置、自動給餌機、計量器、豚舎柵、鶏舎ケージ、スノコ、カーテン巻上機、トラック、△ダンプカー、△フォークリフト、△軽トラック など
家畜畜産物流通施設	家畜市場機械施設	電光セリ機、個票発行機、電光掲示盤、体重計計測装置 など
	食肉食鶏処理流通施設	冷凍機、冷却機、製氷機、クーラーユニット、自動オープナー、電気スタナー、ラップケーサ、マイクロバス、ダンボール印字機、ポイラー、スチールベルト、スーパーチラーベルト、コンテナ段積機、オートチェッカー、コンベヤー類、真空包装機、梱包機、洗浄機、電撃機、皮剥機、昇降機、自動洗浄背割機、ネックスリッター、掛替機、焼機ライン、自動製函機、肺取機、脱骨機、フライヤー、金属検出機、スキナー、テーブルリフト、チョップカッター、オゾン発生装置、ハムスライサー、ロボクープ、脱毛機、スパイラルフリーザー、計量器、小腸切開機、大腸切開洗浄機、トラック、△フォークリフト、△軽トラック、△冷凍車、△冷蔵車 など
	鶏卵又は生乳処理流通施設	鶏卵選機、集卵機、汚卵洗浄機、割卵機、トラック、△フォークリフト、△軽トラック、△冷凍車、△冷蔵車、アイスクリーム製造機、ソフトクリーム製造機、冷凍庫 など
	特認機械施設	上記以外のリース機械についても、協会の理事長が特に必要として認めるときは、特認機械施設として貸付けを受けることができます。これまで、特認機械施設の適用事例として、成分検査分析機器、牛乳プラント等があります。

詳しいことをお知りになりたい方は、(公社)千葉県畜産協会、最寄りの農業協同組合
又は(公財)畜産近代化リース協会までご連絡ください。

(公財) 畜産近代化リース協会

TEL:03-3584-0899 FAX:03-3584-0758

(公社) 千葉県畜産協会 総務・企画部 担当: 飯沼

TEL:043-242-5417 FAX:043-238-1255



チバザビーフ協議会報



チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。

◆第6回チバザビーフ枝肉共励会(東京食肉市場まつり記念共励会)及び前夜祭の開催

平成28年9月26～27日にかけて、東京食肉市場まつり2016の記念共励会となる第6回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭が下記のとおり開催されました。



＜前夜祭＞ (H28.9.26)

- 場所：第一ホテル東京シーフォート3階「ハーバーサーカス」
- 出席者数：153名(千葉県及び食肉関係者、生産者、報道機関等)
- 主催者あいさつ：山崎 巖さま(チバザビーフ協議会 会長)
- 共催者あいさつ：森 英介さま(公益社団法人千葉県畜産協会 会長)
- ご祝辞：石毛 之行さま(千葉県議会自民党畜産振興議員連盟 会長)
石渡 安博さま(千葉県農林水産部 流通販売担当部長)
池田 誠さま(東京都中央卸売市場食肉市場 場長)
小川 一夫さま(東京食肉市場株式会社 社長)
- 応援ステージ：コスミック☆倶楽部(チバザビーフPR大使)

＜記念共励会＞ (H28.9.27)

- 場所：東京都中央卸売市場食肉市場(審査講評、褒賞授与式は東京食肉市場センタービル8階会議室)
- 出品頭数：103頭(黒毛和種 55頭、交雑種 48頭)
- 黒毛和種の部 (単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	(農)宮澤農産	3,503	2,122,818	小川畜産興業(株)	農林水産大臣賞、千葉県知事賞、(公社)千葉県畜産協会 会長賞
優秀賞1席	高梨 栄一	2,938	1,524,822	宮畜産(株)	東京都中央卸売市場 食肉市場 場長賞、東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞2席	江口 幸太郎	3,157	1,594,285	(株)オーエムアイ	(公社)日本食肉格付協会 会長賞
優秀賞3席	清宮 彦久	2,812	1,532,540	アンデス食品(株)	(一社)全日本畜産経営者協会 会長賞
優良賞1席	島田 昭	2,851	1,693,494	原田畜産食品(株)	千葉県家畜商協同組合 理事長賞
優良賞2席	(株)熱田牧場	2,705	1,731,200	乙川畜産食品(株)	千葉県肉牛生産農業協同組合 組合長賞

■交雑種の部

(単位：円)

受賞	生産者名称	枝肉単価	枝肉金額	買受人	褒賞
最優秀賞	塙 正一	3,116	1,869,600	(株)スズチク	東京都知事賞、千葉県知事賞、(公社)千葉県畜産協会 会長賞
優秀賞1席	宇井 正之	1,976	1,001,832	(株)オーエムアイ	東京食肉市場株式会社 社長賞
優秀賞2席	岩淵 行雄	1,819	1,029,554	(株)ミートナイトウ	全国畜産農業協同組合連合会 会長賞
優秀賞3席	伊藤 茂雄	1,936	1,111,264	(株)ウスネ	(公社)千葉県獣医師会 会長賞
優良賞1席	塙 正一	2,000	1,184,000	小川畜産興業(株)	全国農業協同組合連合会 千葉県本部長賞
優良賞2席	林 孝次	1,830	1,151,070	(株)ミートナイトウ	千葉県と畜場協会 会長賞

◆東京食肉市場まつり2016【事前PR活動】

【プレスキャラバン】 (H28.10.5)

チバザビーフPR大使のコズミック☆倶楽部とともに、首都圏報道各社4社(夕刊フジ、東京新聞、J-CASTニュース、日刊ゲンダイ)を訪ね、チバザビーフが推奨銘柄に選ばれた「東京食肉市場まつり2016」の開催について、チバザビーフの特徴や魅力についてPR活動を行いました。



【千葉県知事を表敬訪問】 (H28.10.7)

千葉県庁へ森田健作知事を訪ね、「東京食肉市場まつり2016」にチバザビーフが推奨銘柄に選ばれたことを報告、チバザビーフのPRのための協力をお願いいたしました。また、チバザビーフを試食した森田知事は「全国各地に銘柄牛があるが、チバザビーフは決して負けていない。トロトロと溶けるようで美味しい。」と笑顔を見せていました。

◆東京食肉市場まつり2016の開催 (H28.10.15~16)



今年で35回目を迎える「東京食肉市場まつり2016」が東京都中央卸売市場食肉市場にて2日間にわたり開催されました。

今年の推奨銘柄牛は千葉県「チバザビーフ」ということで、千葉県PRステージには森田健作知事が登場し、存分に千葉県とチバザビーフをPRしていただきました。

また、美味しい牛肉・豚肉の販売・試食、千葉県物産の販売の他、一日中楽しんでいただけるイベントが多数催されました。

2日間とも好天に恵まれ、最終的な総来場者は31,142名と過去最高の来場者数を記録いたしました。

つきましては、食肉市場まつり開催のためにご協力いただいた全ての方々にお礼を申し上げますとともに、このまつりの成功を契機といたしまして、チバザビーフの更なる知名度向上・品質向上を図ってまいります。



◆県産牛肉消費拡大イベント等活動報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。

☆チバザビーフ直売会① (H28.10.8~10)

体育の日における特別セールの一環として、スーパーハヤシの各店舗にてチバザビーフの直売会が開催されました。なお、販売された牛肉には、一部、東京食肉市場まつり記念共励会の入賞牛(交雑種)が提供されました。

☆第10回千葉県畜産フェア (H28.10.22)

船橋競馬場にて開催された千葉県畜産フェアに「かずさ和牛」(千葉県家畜商協同組合)、「しあわせ牛」(千葉県食肉公社)、「若潮牛」(JAちばみどり)、「八千代牛」(千葉北部酪農農業協同組合)の4団体が出展し、焼肉の販売等を行いました。

また、チバザビーフPR大使の「コズミック☆倶楽部」がライブステージに登場しました。

☆ちばアクアラインマラソン2016 (H28.10.23)

ハーフマラソンのゴール地点(牛込漁港)にて販売ブースを出展し、チバザビーフ(黒毛和牛)のステーキを提供いたしました。

また、千葉テレビが放送する生中継の番組に協賛し、字幕スーパーでのCM放送や視聴者プレゼントの提供を併せて行い、県産牛肉のPRに努めました。



☆チバザビーフ直売会② (H28.12.10)

千葉県家畜市場にて、恒例の「かずさ和牛」の直売会が開催されました。一頭買いされた牛を卸値価格で提供しており、毎回行列ができるほど好評です。

販売は1人の購入数量を制限していましたが販売開始から2時間足らずで完売となりました。

☆チバテレお年玉キャンペーン (H28.12.19~H29.1.10)

千葉テレビの企画による視聴者プレゼントキャンペーン。昨年度の秋の視聴者キャンペーン同様、千葉県産牛肉のPRのため県産銘柄牛肉を提供いたしました。

事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 総務・企画部 企画課 (担当:小倉)

TEL:043-242-6333 FAX:043-238-1255

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 理事会報告

平成28年12月21日(水)千葉県畜産協会会議室に於いて、第3回理事会が8名の出席を得て開催されました。主な協議事項は下記のとおりです。

(1) 平成28年度事業進捗状況について

①平成28年度食料安全保障確立対策事業(地域生産衛生高度化事業)：農水省公募事業

本事業は、地域での農場HACCPの取組農家への指導員を派遣し、その経費の1/2を補助する内容で、現在5農場(酪農1、豚1、採卵鶏2、ブロイラー1)を計画し、構築指導に取り組んでいます。

②平成28年度死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託に係る業務委託事業(県公募事業)

本事業は、死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託に係る業務委託で4月～12月まで延べ196日間(NPO会員4名)で、計画どおり円滑に推進しています。

③平成28年度ちば農商工連携事業支援基金助成事業(団体公募事業)

本事業は、中小企業者等と農林漁業者による連携体に対して、NPOより農商工連携事業に知見を有する専門家を派遣し、連携体のそれぞれの強みを再発見し、相互理解の促進による相乗効果を発揮し、社会環境に適応した事業計画の作成を支援する内容です。

昨年度は県内4か所で取組んだ実績がありますが、今年度は畜産農家と中小企業者との調整等が難しく、現在のところ1か所で事業を推進しています。

④畜産協会からの依頼により会員を派遣

千葉県畜産協会からの依頼により、NPO会員を農場等に派遣して、各種事業への支援・協力に取り組んでいる状況について報告がありました。

ア. 農場HACCP構築支援指導については、農場HACCP指導員(12名)を派遣して、県内25農場(酪農2戸、養豚21戸、採卵鶏2戸)で農場HACCP認証基準に基づく農場認証を目指している農場への指導・支援を実施しています。

今年度は、3農場が認証を取得しました(酪農1、豚2)、2農場が申請中(豚2)で、今年度末には3農場(採卵2、豚1)が認証申請をする予定で、本事業の円滑な推進が図られています。

また、農場HACCPを取組んでいる農場の外国人技能実習生を対象とした研修会の開催や、卸売業者や消費者へのアンケート等にも取り組んでいます。

今後は、昨年度発足した「千葉農場HACCP研究会」での具体的な活動として、中央畜産会発行の農場HACCP認証基準の理解と普及に向けて(解説書)の第6章の変更部分の解説や不適合の考え方等の勉強会について実施していく予定です。

イ. エコフィードコーディネーター設置事業については、当NPO会員をエコフィードコーディネーターとして検討会やエコフィードTMRセンター調査等に派遣して、県内のエコフィードの普及推進の向上に努めているとの報告がありました。

ウ. 野生獣衛生体制整備緊急対策事業では、イノシシ15頭、シカ15頭の採材・調査や地域衛生対策技術連絡委員としてNPO会員を派遣して、本事業の円滑な推進に協力している旨の報告がありました。

(2) 各部会の活動について

企画部会及び生産振興部会、調査研究部会は6次産業化の推進協力、畜産研修会の企画等の活動を行い、現在第2回畜産研修会を企画・検討しています。衛生環境部会は上記の農場HACCP事業を中心として取り組んでいます。

(3) 第2回畜産研修会についての検討結果

本年度はNPO設立(平成19年4月登記)から10周年を迎えることから、第2回畜産研修会については、設立10周年を記念する研修会とし、その時に『NPOの10年間の歩み』を記載した印刷物を配布することとなりました。

2. 千葉県畜産フェアでの出店「畜産何でも相談」及び

農場HACCPのパネル展示とアンケート調査の実施



農場HACCPのアンケート調査

平成28年10月22日（土）船橋競馬場で開催された千葉県畜産フェアでは、NPOは会員各位の協力を得て、昨年同様「畜産何でも相談」コーナーと農場HACCPパネル展示・アンケート調査（アンケート回答196名）を実施しました。

「畜産何でも相談」では、畜産農家から農場HACCP構築について相談があり、話し合った結果、取りあえず農場独自で勉強し、29年4月から構築指導に協力をする事となりました。

また、ある会社から、動物薬品の野外試験の相談がありました。内容を検討した結果、農場を紹介することとしました。

畜産フェアのたびに「畜産何でも相談」を設置していると、相談コーナーを目的に畜産フェアに来る人もいるのにはびっくりしました。日ごろと違った意見交換や消費者へのパネル展示、アンケート等ができ、有意義な一日となりました。

3. 平成28年度第2回畜産研修会の開催について

現在、10周年を記念とした畜産研修会は2月開催を目途に理事会で検討中です。

決定次第、会員の皆様にご案内申し上げますので、大変お忙しい中恐縮ですが、多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

◎入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（(公社)千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

現会員数：81会員（内正会員個人68・団体11、賛助会員2団体）

肉用牛損害賠償請求

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会会長 山崎 巖

第10次肉用牛損害賠償請求をもって肉用牛の逸失利益分の賠償請求が終了し、第11次から第17次請求まで検査費用の請求を行ってきました。

第18次以降の請求については、検体代と検査料を合わせて請求する内容（様式：A票）となっておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、前回の第37号でお知らせしたとおり、請求書の添付書類として領収書又はこれに代わり出金を確認できる書類（清算書等）を必ず添付することとなりましたので、今後の肉用牛損害賠償に係る請求書を作成する際には、お間違いのないようよろしくお願いいたします。

また、平成28年12月19日付けで第22次請求を行いましたので、併せてお知らせいたします。

（事務局 飯沼）

区分	請求対象期間	請求金額	請求者数	請求日	
請求中	第22次	平成28年7月~9月	14,043千円	66名(164名)	平成28年12月19日

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

2016年（第10回）千葉県畜産フェア開催

平成28年10月22日（土）、船橋競馬場ふれあい広場に於いて第10回千葉県畜産フェアが千葉県・船橋市の後援、関係団体、出展団体等の協力、また、多数の団体より協賛をいただき盛大に開催することができました。第10回の記念フェアということで、ステージを復活させ、コズミック☆倶楽部のライブや館山市の酪農家須藤牧場の後継者が結成した、酪農家劇団「須藤兄弟」の演劇で会場を盛り上げることができました。



また、シークレットイベントとして実施した、「巨大ももハムそぎ落とし」の無償配布はハムのジューシーな美味しさと、そぎ落としのパフォーマンスで大変好評を得ることができました。

千葉県畜産協会 森会長、千葉県農林水産部 伊東部長が出席され、出展者の方に激励の挨拶をいただきました。

天候にも恵まれ、大勢の県民や関東近郊の方々が訪れ、焼肉試食販売、ミルクくずもちの販売等を行い、豪華な景品（牛肉・豚肉等）が当たる大抽選会は今年も大いに盛り上がりました。今後多くの集客のため同時開催されている

団体と連携し、来場者に千葉県畜産物の消費拡大の推進や安全・安心等のPRを行える場になるよう進めていきたいと思っております。（企画課 武田）



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第21号

モ～モ～フ～フ～コケッコ～

千葉県内の畜産に携わる女性のみさんの会報です。

活動記録

第10回千葉県畜産フェアへの参加

平成28年10月22日（土）に開催された千葉県畜産フェアに参加し、「ミルクくずもち」を販売しました。「ミルクくずもちいかがですかー」と声をかけると、実際にその場で会員の皆さんが手作りしているのを見て、「買ってみよう」と購入して下さるお客様が多かったです。



また、1パック購入され、「とても美味しかったので、もう1パック買いにきました！」と2・3度足を運んで下さるお客様もいらっしゃいました。

売れるかなという不安もありましたが、約250パック用意していた分すべて、13時過ぎには完売してしまいました。隣では、平成28年度千葉県肉豚共進会で農林水産

大臣賞を受賞された柴畜産の柴しづいさん手作りのウインナーやハンバーグ等の販売も行いました。

大盛況だった嬉しい気持ちと、販売したことでの達成感も加わり、すごく充実したイベントとなりました。



◎簡単！おいしい！ミルクくずもちの作り方（約4人分）

- ① 鍋に牛乳(2カップ)・砂糖(大さじ3)・片栗粉(1/2カップ)を入れ、よくかき混ぜる
- ② 火にかけ、焦がさないようによく練り上げる
- ③ バットを水でぬらし、②を流して平らに落ち着かせる
- ④ きな粉(60g)・砂糖(60g)・塩(少々)を合わせる
- ⑤ ③がある程度固まったら、食べやすい大きさに切り、④をかけて盛り付ける

冷やして食べても
おいしいよ☆



活動予定

視察研修会

日程：平成28年2月7日（火）

場所：ポケットファームどきどき つくば牛久店・千葉県内（野田・柏方面を検討中。）（事務局 長嶋）



N P C 通 信



1 自由民主党県議会議員（畜産議連）との情報交換会開催（2016. 9. 29）

9月29日千葉市、三井ガーデンホテル千葉において自由民主党県議会議員会畜産振興議員連盟との第2回目となる情報交換会が開催された。現在33名が所属する畜産議員連盟から石毛之行会長以下23名の先生方のご出席を頂いた。この会は、養豚振興プロジェクト委員会メンバー（県、県と畜場協会、全農、ナイスポーク三役）に加え、ナイスポーク役員・会員が加わり、指導機関として県農林水産部畜産課、行政担当者並びに（公社）千葉県畜産協会からも参加を頂き総勢51名による開催となった。



開会に際し主催者である塩澤英一会長から「生産者・関係機関からの希望でこの会が開催できたことの御礼と現在生産者組織が一体となり養豚チェックオフの法制化を求め、地元国会議員に対し要請を行っている。本日の情報交換でのご指導をお願いいたします」と挨拶。畜産議連石毛之行会長から、「養豚生産者との情報交換会の企画は、議員にとっても良い機会であり、継続的な開催により養豚の状況を知ることによって振興につなげていきたい」と挨拶を頂き情報交換に入った。

＜養豚生産者組織の取り組み報告＞

- ① 養豚チェックオフ制度の法制化と目的 ② 疾病対策・地域防疫ネットワークの立ち上げ

養豚生産者・生産者組織が取り組んでいる養豚チェックオフ制度の法制化と地域防疫ネットワークの取り組みによる防疫対策の重要性について報告し理解を求めた。

＜テーマによる意見交換会＞

- ① 県産豚肉消費拡大の推進と新たな取り組み ② 養豚における飼料米の活用・拡大

今後、国際交渉の中でより安い豚肉が多く輸入される現状からその取り組みと対応として、国産豚肉の消費拡大と養豚農業振興の中で養豚生産者が利用している飼料米の活用の現状と利用を推進していくため、今後必要な対応について貴重な意見交換となった。

＜懇親会の開催＞

情報交換会終了後、県産豚肉料理を囲み、再度情報交換を図り懇親を深めた。今後もご指導をお願いするため、畜産振興議員連盟との情報交換会の継続開催をお願いした。

2 畜産フェア2016に出展参加（2016. 10. 22）

「千葉の畜産を・食べよう・話そう・知ろう」とのキャッチコピーを掲げ、第10回目を迎えた畜産フェアにナイスポークは協賛・参加した。

出展ブースでは、県産豚肉・養豚産業・豚・畜産・健康に関する通常の情報に加え、養豚における給与飼料として飼料米を取り上げ『養豚農業』としての養豚の役割について来場者の関心を得るよう発信に努めた。



3 千葉県産ポーク・地域消費者との出前交流会開催（2016. 10. 28）



養豚振興プロジェクト委員会が年2回開催する会議の中で、消費者団体との情報交換会を委員が地域に出向き、地域消費者との情報交換を目的とし、柏市高田所在の農産物直売所「かしわで」内ビュッフェレストラン「さんち家」において消費者35名、他関係者、総勢51名が参加して開催、ナイスポークチバ推進協議会もこれに協賛した。

今回の交流は、「知ろう豚・豚肉の情報、食べて・話そう」をテーマとして、午後4時頃からは、まず、参加者に県産豚肉の試食（しゃぶしゃぶ）をして頂き、県産（国産）豚肉の美味しさを楽しんでいただいた。また、その時間帯に掲示物を交え情報交換を図りその後、県畜産課、と畜場関係者、生産者、県消費者団体代表、がパネラーとなり、参加者と意見を交わした。今回も消費者に対し千葉県が全国第3位の豚肉生産県であることの認知度アンケートでは「知っていた」が43%、「初めて知った」が36%、「驚いた」が20%との結果であった。このような地域に出向いて開催する交流会は大変ではあるが、必要性を強く感じた。（→次項に続く）



4 第40回千葉市民産業まつり出店参加 (2016. 11. 3)

晴れの特異日でもある11月3日の文化の日、千葉開府890年の歴史と千葉の恵みの大感謝祭千葉湊大漁まつりとなる第40回千葉市民産業まつりが千葉市中央区千葉ポートパーク周辺緑地帯において開催され、これに参加出店した。

気温は20℃とこの時期では暑さを感じる秋晴れ、ほとんど風もなく穏やかな日のに誘われ主催者発表7万人の来場者が会場に訪れた。ブースでは県産豚肉を使った焼肉70kgの販売、アンケート&クイズに答え、抽選でローズ1kgブロック50本のプレゼントに加え、千葉県産はちみつ20本を賞品として準備。それを求め2列(焼肉購入・ガラボン抽選)の長い列ができた。

昨年同様千葉県の養豚産業、豚肉、畜産、健康のための食生活などの情報を掲示し、消費者との交流により千葉県産豚肉の消費拡大を図った。



5 千葉ロッテマリーンズ秋季キャンプ in 鴨川慰問 (2016. 11. 17)



鴨川市総合運動施設や野球場において実施されている千葉ロッテマリーンズ選手激励のため、秋季キャンプ地を訪問した。去に石垣島での春季キャンプに出向いたことがあるがあまりにも遠方であることから千葉県鴨川市での訪問を熱望していた。今回、青年部(菅井伸会長)が中心となり事務局を含め6名が参加し、県産豚肉1頭分(約50kg)をブロックで持参した。

午前中の練習を終え、千葉ロッテマリーンズ、球団本部編成部、球団本部長補佐兼編成部長 松本尚樹氏及び山下徳人 野手総合打撃コーチを交え懇談、キャンプ参加選手2名を指名(内野手・背番号23 中村 奨吾選手/内野手・背番号13 平沢 大河選手)させていただき、グラウンド内で激励のセレモニーを行い豚肉のパネルを贈呈した。記念に写真撮影を行ない選手の活躍を期した。

6 活動報告会2016盛大に開催 (2016. 12. 7)



恒例となった活動報告会は、諸般の事情により開催を1時間早めて千葉市内京成ホテルミラマーレにおいて開催した。例年消費者を意識して開かれる特別講演には今回120名が参加し、高齢化社会の中で人生終末をどう迎えるべきかとの大きなテーマとして「人生満足して生きるためのヒント」と題し、東京有明医療大学・保健医学部・鍼灸学科教授である川島 朗先生を招き開催した。



講演では、QOD(死の質)、QOL(生活の質)、エンディングノート、「TODORリスト」について解説しながら、自分の理想的な死について日頃から考え。家族に伝えておくことが人生の最終章を悔いなく迎える最善の準備ではないか。死について真剣に考えることが、結果として今生きている事への感謝との気持ちに繋がるのではないかと結んだ。



報告会にはご来賓、生産者、賛助会員、関係者に加え千葉県の豚肉を応援するサポーターの方々総勢209名が参集して開催された。冒頭、塩澤会長から「18年目に入り、養豚を取り巻く国内外の厳しい情勢からこれらに立ち向かい、消費者に求められる豚肉生産に努める」と決意。来賓とし森田健作知事から「素晴らしい千葉県産ポークをもっと宣伝しなければならない」と激励の挨拶。また、地元衆参国會議員、県議会副議長、自民党県議会畜産振興議員連盟、JPPA会長から各々活動に対する激励のご挨拶をいただいた。





この一年間の活動報告の後、千葉ロッテマリーンズ選手、サポーター会員である消費者の皆さんとの交流・意見交換会が行われた。

会場では、千葉県産豚肉5銘柄の食べ比べ、「しゃぶしゃぶ」とモモハムが人気を集めた。

最後に、養豚産業を守り発展させるための決議を読み上げ、協議会が掲げるスローガンとして満場一致で承認された。



1. 国産豚肉の良さと養豚の役割を広く国民に伝えるため、チェックオフ制度の法制化を強く求めます。

2. 輸入豚肉加工品の原産地表示により、消費者の選択肢を広げる法制化を強く求めます。

7 第10回JPPA「俺たちの豚肉を食べてくれ」盛大に開催 (2016.12.10~11)



JPPA（一般社団法人日本養豚協会）恒例の消費拡大イベント「俺たちの豚肉を食べてくれ！」は、東京・日比谷公園で開催された。第7回ファーマーズ&キッズフェスタ（主催：日本農業法人協）に出展し、日本の豚肉の美味しさをアピールした。

ファーマーズ&キッズとは、日本全国のプロの農業者が集い「子どもと農業をつなぐ架け橋」として都会の子どもたちに元気なニッポンの農業を発信するイベントで、こ

だわりの新鮮な農産物を東京のど真ん中にお届けするとともに、楽しいステージや食育・農育ワークショップ、大型農業機械の試乗や畑を耕す体験、動物との触れ合いの場を作ったりと、様々な形で農業の魅力とたのしさを紹介するものとなっている。

例年の開催時期から1カ月遅い開催となったが、全国から若手生産者延べ300名が参集し盛大に開催され、ナイスポークチバ推進協議会の青年部がこれに協力参加し、千葉県の銘柄「房総ポーク」のしゃぶしゃぶを来場者に提供した。

養豚情報（エコフィード・飼料米）全国の銘柄豚肉を使った焼肉・トン汁・しゃぶしゃぶの試食に加え、来場者参加型イベントとして、豚の鳴き声長さ大会、じゃんけん大会、〇×クイズを実施し各イベント担当者達が名司会でステージを盛り上げた。



8 千葉県知事へ2017新年の挨拶 (2017.1.5)

恒例となった森田知事への年頭挨拶は塩澤会長、岩岡会長代理他副会長・堀江顧問の8名で訪問。会長から昨年来賓としてご出席を頂いた「活動報告会2016」の御礼を申し上げ、知事から「日頃本県の豚肉生産と消費拡大への活動に感謝する、千葉の豚肉をもっとPRしましょう」との挨拶を頂いた。折よく石毛之行畜産議連会長も挨拶に来られ一緒に記念撮影。



県庁舎は農林部長室、政策課、団体指導課、流通販売課、生産振興課、担い手支援課、健康福祉部衛生指導課、自民党県議会議員会畜産振興議員連盟事務局である自民党千葉支部連合会、また資金活用で生産者との繋がりが深い政策金融公庫を回り挨拶及び情報交換を図った。

事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部 (担当:加藤)
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

平成28年度千葉県肉豚共進会

～旭市の柴しづい氏が農林水産大臣賞を受賞！～

平成28年度千葉県肉豚共進会を10月4日（火）～6日（木）旭市の千葉県食肉公社を会場として開催いたしました。

全体の成績としては、100組200頭の出品があり、上物頭数135頭、上物率67.5%、平均枝肉重量75.5kgという結果であり、その中から比較審査を行い、旭市の柴しづい氏の枝肉が名誉賞を受賞いたしました。

名誉賞に輝いた柴氏の出品豚は、雌は極上にランクされるほど、外観、肉付き、脂肪の付着に優れた枝肉でしたが、枝肉重量が極上には1.5kgオーバーする79.5kgであったため、残念ながら上物の格付けとなりました。去勢についても十分な広さ、長さ、肋の深さを持つ枝肉で、モモ張りも良く、カタも充実し肉量のある枝肉でした。



名誉賞 受賞豚
旭市 柴しづい 氏

カット面を見ても、ロース芯は大きくまた脂肪交雑も見られ、全体の肉質、肉色および脂肪色も良好であることから、農林水産大臣賞を受賞されました。（生産課 金杉）

賞	出品 No.	市町村	氏名
名誉賞	70	旭市	柴 しづい
優等賞 1 席	10	富里市	佐々木 浩
優等賞 2 席	64	旭市	柴田 初枝
優等賞 3 席	58	旭市	石毛 秀治
優等賞 4 席	61	旭市	辻内 嘉明
優等賞 5 席	2	佐倉市	熱田 修司

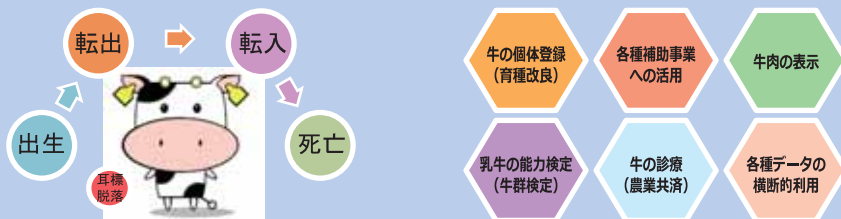
上位入賞豚の買い増し

- 名誉賞 1000円/kg
- 優等賞（1席～2席） 100円/kg
- 優等賞（3席～5席） 50円/kg

酪農課、肉用牛農家の皆様へ

牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

- ◇牛の管理者には、牛トレサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務付けられています。
- ◇届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレサ法に基づく罰則の対象となります。
- ◇さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。
- ◇牛トレーサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。
- ◇牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。



「食の安全・安心」のための第1歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

「地方競馬の馬主になりたい！」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。
地方競馬の馬主登録制度についてご案内しております。

●問い合わせ先：審査部登録課 TEL:03-3583-2142 URL <http://www.keiba.go.jp/>

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417 (代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	
Eメール：info@chiba.lin.gr.jp		URL http://chiba.lin.gr.jp	